

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年12月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【G4タンクエリアにおける協力企業作業員の負傷(火傷)について】 協力企業作業員が、G4タンクエリアにおいて、溶接作業を行っていたところ、左脇腹に火傷を負った。救急医療室にて医師の診察を受けた後、医療機関へ搬送。医師の診察により「3度の熱傷」と診断された。今後、原因調査ならびに再発防止策を検討予定。	G I	12月10日
2	【管理対象区域内における電子式線量計(APD)の警報鳴動時の未退域について】 構内巡回バスの運転手が、管理対象区域内でバスの運行業務を行っていたところ、電子式線量計(APD)の警報が鳴動したにもかかわらず、そのままバスの運行を優先した。社内マニュアルでは、警報が鳴動した場合は作業を中止し、管理対象区域外へ退域することとなっている。今後、原因調査ならびに再発防止策を検討予定。	G II	12月8日
3	【5号機タービン建屋2階天井からの水の滴下について】 当直員が、パトロール中に5号機タービン建屋2階天井より水が滴下していることを確認。簡易サーベイを実施し、バックグラウンドと同等であることから雨水と判断。今後、日々のパトロールにて雨水の滴下状況を管理するとともに屋上防水補修工事を実施予定。	G III	12月8日
4	【6号機タービン建屋1階天井付近からの水の滴下について】 当直員が、パトロール中に6号機タービン建屋1階天井付近より水が滴下していることを確認。簡易サーベイを実施し、バックグラウンドと同等であることから雨水と判断。雨水の流入経路が特定出来ないため、日々のパトロールにて雨水の滴下等の経過確認を継続的に実施予定。	G III	12月8日
5	【増設多核種除去設備の共沈タンク(C)における pH計の指示不良について】 当社社員が、増設多核種除去設備共沈タンク(C)における pH計の定例点検を実施したところ、3本あるpH計のうち1本が指示不良であることを確認。なお、他の2本のpH計により運用可能なため、運転に問題なし。今後、修理または交換を実施予定。	G III	12月9日
6	【3号機使用済み燃料プールの現場コンテナ内エアコンからの冷媒の漏えいについて】 3号機使用済み燃料プールの現場コンテナがエアコンによる冷却ができていないことを確認。原因を調査したところ、室外機より冷媒が漏えいしていることが判明。後は、機器の取り替えを実施予定。なお、当該エアコンは2重化されており、コンテナ内の冷却への影響は無い。漏えいした冷媒は第一種特定製品であり、福島県相双地方振興局に報告済みであることを確認。	G III	12月10日
7	【使用済み燃料プール共通2次系空気冷却器の異音の発生について】 当社社員が、パトロールにおいて、使用済み燃料プール共通2次系空気冷却器の電動機 A-1より異音を確認。なお、当該設備の電動機はA-1以外の装置へ切替し、問題ないことを確認。今後、原因調査ならびに対策を実施予定。	G III	12月12日